

市民協働かわら版

No.34

発行：泉南市総合政策部政策推進課
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―一
TEL：〇七二―四八二〇〇〇四

(平成二十九年四月七日発行)

三月二十一日(火)に平成二十八年度第十二回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市地域子育て支援センター2階で開催され、十四名(市民十二名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】

当日は、地域子育て支援センターでの開催ということ、泉南市ABC委員会に所属している団体にもご協力いただき、子どもと一緒に参加できるように一時保育も実施したところ、たくさんのお母さん方に参加していただきました。当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

1. お母さんから見た泉南市について

①歩道のバリアフリーについて

「泉南市の歩道が狭く、ベビーカーを押して歩道を通ることができない場所がある。そういった場所は車道に出なければならず、車が走行していると危険と思う。また、ベビーカーも軽いものではなく、歩道の降りも大変で、傾いているところもある。そういった場所を改善してほしい。」

②子どもの遊び場について

「泉南市には、ボール遊びができる場所がないと思う。開発された住宅や団地内にある公園は、住宅が隣接しているので、自由にボール遊びが出来ない。自由にボール遊びが出来る場所があればよいと思う。」

2. 地域子育て支援センターについて

「ひだまりは居心地が良い。もっと積極的にひだまりをPRし、たくさんのお母さんが活用すればよいと思う。」

「幼稚園、保育園などに入園していない子供を遊びにつれていける場所が少ない。」

「泉南市はいろいろな場所で子育て関連のサロンや広場を開催しているが、子ども総合支援センターやこの地域子育て支援センターひだまり等でしか障害児や発達の子どもの産

その保護者の集まる場所がない。もっと海側や山側でも開催してほしい。」

「子育て中の保護者に向けたこの『すこやかNEWS』は情報がたくさん記載しており、とても助かっている。」

3. サロン参加者の感想について

「今回のひだまりという開催場所で参加者が増えたように、今後開催場所についても、検討していくべきと思う。」

「いろいろな場所での開催を希望する。」
「今回のサロンは、多くの女性が参加していた。女性の視点でのまちづくりに関する積極的な発言があり、大変良かった。」

「毎回参加している、参加者の発言も大事であると思う。」

「今までに出されたサロンでの意見をどのようにして今後のまちづくりに活かすか、とても大事だと思う。」

「今後、泉南市に住んでよかったと思えるようなまちづくりを期待する。」

最後に、恒例となった参加者の方が自主的にまとめた資料については、参加者が市議会を傍聴した感想を述べ、本市の第5次総合計画にも触れながら、自身の感想も含めて説明がありました。他にもたくさん意見や情報の共有ができ、有意義な時間となりました。

次回は、四月二十五日(火)午前十時から泉南市埋蔵文化財センターで開催する予定です。多くの市民の皆さまの積極的なご参加をお待ちしています。

※今回のかかわら版は多数の参加者からの意見を掲載したので、サロン風景の写真は掲載していません。



泉南市マスコットキャラクター
「はなはな」
「泉南製茶部」